



読書活動推進の取り組み成果 ～心豊かな子どもたちを育む～

市では、教育委員会が作成している平成23年度「豊岡市保育・教育の実践の方向」の中で、「豊かな心をはぐくむ読書活動の推進」を掲げ、さまざまな読書活動の推進に取り組んでいる。

各学校では全校読書や読み聞かせ、親子読書等特色ある取り組みを実施し、読書習慣の一層の定着を図っており、生涯学習の場においても読書活動の推進に努めている。

これらの取り組みの結果、読書感想文全国コンクールで、神美小学校が小学校の部で全国1位を受賞した。

1 神美小学校受賞概要

(1) 賞名

第57回青少年読書感想文全国コンクール「読書感想文推進大賞」(小学校の部)

(2) 主催

社団法人全国学校図書館協議会／毎日新聞社

(3) 受賞理由

学校・行政・地域が一体となって子どもたちの読書活動を盛り上げ、読書感想文指導に積極的に取り組んでいる以下の活動が評価された。

①読書感想文指導

- ・国語の教科書で紹介されている本を充実させ、ペアやグループで感想を交流する学習の実施
- ・読書感想文集等の読み聞かせの実施
- ・読書感想文の、書き方の手引きとなる「ワークシート」の作成と活用
- ・「チャレンジ! フィフティ」と関連させた、“心の読書貯金”の実施
(読んだ本を記録し、読後の一言感想も記録する。感想を絵と文で紹介する。)

②読書の活動・環境

- ・「読書の森」…たくさん本を読んだお友達の名前を葉っぱに書いて掲示
- ・本がそばにある空間作り (いつでも学年にあった本をすぐに手に取れる環境を作るにより、ちょっとした時間でも読書できる「すきま読書」を充実させた)
- ・市立図書館の活用 (お話キャラバン隊、団体貸出し等)
※お話キャラバン隊とは、図書館職員・児童ボランティアが幼稚園や小学校に出かけて詩の朗読・ストーリーテリング・絵本の読み聞かせなどを行う取り組み
※団体貸出しとは、事前にテーマや作者等を伝えておくと、図書館が関連する本を準備し、三十冊まで1カ月間貸し出ししてくれる制度
- ・学校図書館ボランティア (地域の方・保護者) による読み聞かせ、掲示物作成等環境整備の充実



(4) 表彰式

- 日 時 平成24年2月3日(金) 13:00～
- 場 所 東京會館(東京都千代田区丸の内)
- 出席者 齋藤恭子校長

(5) その他

- 市長報告
平成24年2月6日(月) 16:00～ 市長室

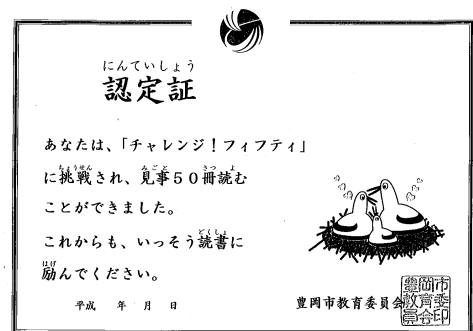
2 読書活動推進の取り組み

(1) 「チャレンジ! フィフティ」

①内容

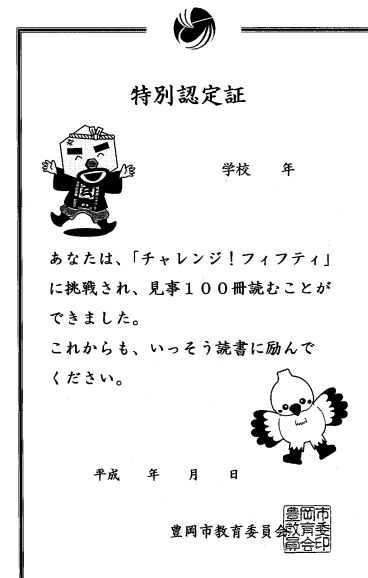
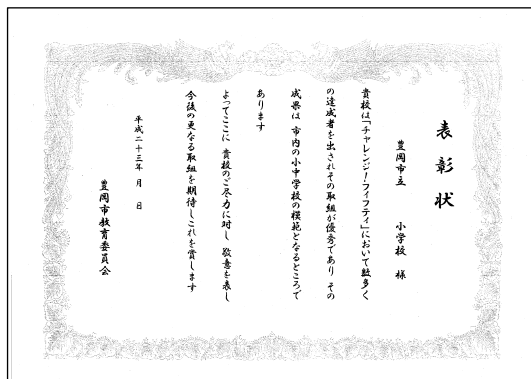
ア、認定証の交付(平成19年度～)

1年間に50冊読破した児童(中学生は平成19～21年度は50冊、平成22年度からは30冊)に認定証を交付する。
(一人何回でも交付)



イ、特別認定証の交付(平成21年度～)

1年間に200冊読破した児童(中学生は100冊)に特別認定証を交付する。



ウ、学校表彰(平成22年度～)

年度内に認定証の交付を受けた児童生徒の実人数の割合が、全校児童生徒数の50パーセント以上に達した学校を表彰する。

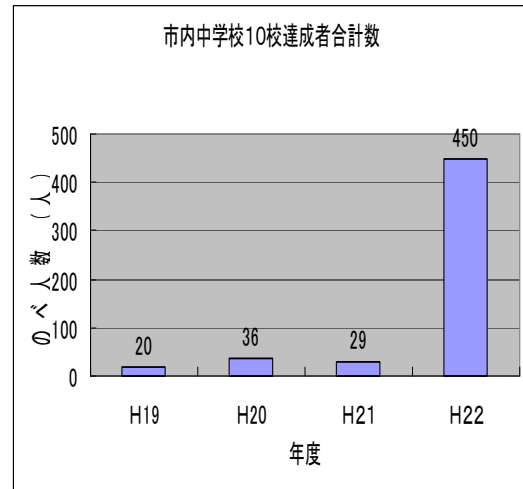
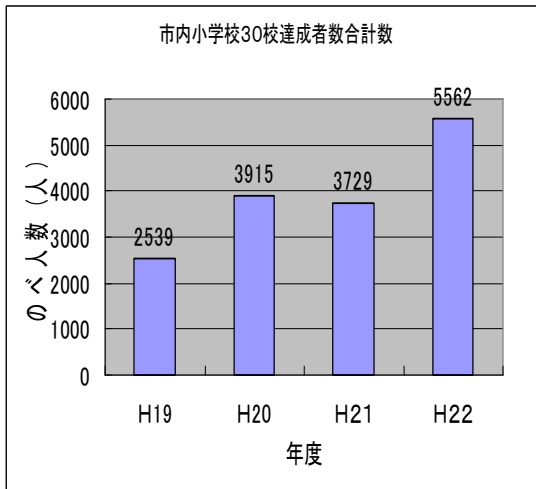


②認定証交付・表彰状況

ア、認定証交付状況

小・中学生共に認定証の交付枚数は増加傾向にある。

※ただし、中学生は平成22年度から50冊から30冊に基準を下げた。



	H19年度		H20年度		H21年度		H22年度	
	人数 (人)	達成率 (%)	人数 (人)	達成率 (%)	人数 (人)	達成率 (%)	人数 (人)	達成率 (%)
小学生	2,539	48.1	3,915	75.6	3,729	74.0	5,562	113.0
中学生	20	0.7	36	1.3	29	1.1	450	16.7

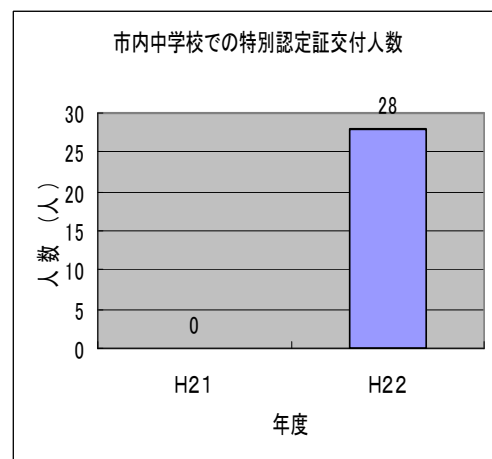
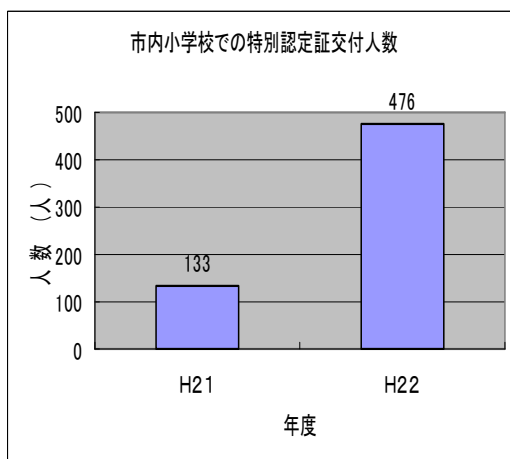
※ 人数は延べ人数

〈参考〉市内全公立小・中学校の児童・生徒数

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
小学生	5,283	5,179	5,039	4,923
中学生	2,869	2,763	2,702	2,693

イ、特別認定証の交付

平成21年度から始めた特別認定書の交付は、平成22年度から小・中学生共に基準冊数を減らした(小学生は300冊から200冊へ、中学生は300冊から100冊へ)こともあり、増加している。





	H21 年度		H22 年度	
	人数	達成率	人数	達成率
小学生	133	2.6%	476	9.7%
中学生	0	0%	28	1.0%

ウ、「チャレンジ! フィフティ」学校表彰

平成22年度から実施している学校表彰も、昨年を上回るペースで表彰に至っている。

〔表彰校数〕

	4～12月	1～3月	計
H22年度	8校	15校	23校
H23年度	16校		

※表彰校はすべて小学校

(2)「全校一斉の読書活動」の実施

市内の全公立小中学校では、全校生が一斉に読書活動を行う時間を設定している。特に朝の始業前の時間を活用している学校が多い。児童や生徒とともに教師も読書を行い、読書に集中する雰囲気大切にしている。

(3)「豊岡市推薦図書一覧」の活用

発達段階に応じた読書活動を一層推進するため「豊岡市推薦図書一覧」を作成し、園児・児童・生徒に配布している。

本年度、この「豊岡市推薦図書一覧」を改訂した。改訂にあたっては、園児・児童・生徒・教職員にアンケートを実施し、選定の参考にするとともに、豊岡にゆかりのある本（地域に関する本）を盛り込んだ。

(4) 学校図書館ボランティアの活用

市内全ての公立小・中学校において、保護者や地域の方々による学校図書館ボランティアを導入し、児童生徒への読み聞かせや本の修繕、読書活動推進啓発の掲示など、さまざまな活動をお願いしている。

(5) 生涯学習の推進と学習環境の充実

市立図書館では以下の取り組みを行い、読書活動を推進している。

- ①読み聞かせを広めるため、指導者養成講座を開設
- ②ブックスタート（7ヶ月健診時に赤ちゃんとその保護者に絵本を2冊手渡し、絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動）・読み聞かせ事業の推進
- ③お話キャラバン隊を学校などへ派遣
- ④図書館ボランティアの養成
- ⑤障害のある方へのサービス事業の充実
 - ・音訳図書（CDやカセットテープに吹き込んだ図書）の貸出し
 - ・リクエストによる音訳図書の作成
 - ・点字図書の貸出し
 - ・本を借りに来ることができない方への本の郵送



3 今後の読書活動の推進

- 今後も、「チャレンジ！フィフティ」における認定証の発行と学校表彰を継続実施しながら工夫改善を図り、児童生徒の読書習慣がより一層定着することを目指す。
- 「豊岡市推薦図書一覧」の活用向上と同時に学校図書蔵書を充実させるなど、読書活動の推進と読書環境の整備・充実を図っていく。

〈参考〉地域の取り組み

港3校、港地区では、平成23年4月から、毎月23日を「家庭読書の日」と定め、子どもに限らず家族みんなで読書をする、家族のふれあいをもつという取り組みを行っている。

〔問合せ〕 豊岡市教育委員会 子ども教育課 TEL0796-23-1451